（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十八年八月二日（水曜日）　臺灣日日新報　第二万五千五百三十四號　（一）

夕刊

臺灣新報

昭一一月六日夕刊　一部定價十錢三圓　臺北市榮町　大日本雄辯會講談社　振替二十三日丁目町番地　電話番號　日・臺・臺・臺

玉砕の忠魂銃後顯揚

全國民生産突撃

山田翼壯中央本部長血涙の放送

【東京發】五日午後七時より山田翼壯中央本部長は日本國民にとつて忘れ得ぬ記念日と成つた、この時アツツ島の我が將兵二千餘名の玉砕が大本營から發表されたのである、顧に山本元帥の戰死があつた丈山本元帥の戰死があつた丈山本元帥の戰死があつた丈

皇軍の神髄 山崎大佐

遺書に武人の面目

嚴格に育つ山崎部隊長

（記事本文）

寡言實行部下思ひ

森田周作中佐談

（記事本文）

温厚・篤實な武人

林田○○部隊長談

（記事本文）

きつと討つこの仇

報復を誓ふ アッツ島勇士 白衣の勇士

（記事本文）

慈愛深き大情部隊長

一人もきたへて下さる

（記事本文）

幼少から勉強家

親友山田大佐談

（記事本文）

剛毅果断、厚い友情

學友の語る 山崎大佐の横顔

（記事本文）

非常な負嫌ひ

戰友畠山玉佐談

（記事本文）

努力至誠の人

小林治一少尉談

（記事本文）

弾丸切手を三萬圓

日婦臺北市支會で消化

（記事本文）

後二國志

（出師の巻）(111)

吉川英治作
矢野橋村畫

出師の表(5)

（本文）

御遺跡地祭

（記事本文）

遺族を弔問激勵

山内警務局長 臺中から高雄へ

（記事本文）

死して罪ほろぼし

勇士の妻 亡夫の覺悟を語る

（記事本文）

國鐵の職名簡素化

鐵道局長會議で協議

（記事本文）

幸運者は誰れ？

（記事本文）

過言

（記事本文）

責務

（記事本文）

實驗でも酒造は法度

國民學校の先生はご注意

（記事本文）

内地留學生を誘掖指導

連絡部、父兄懇談會開かる

（記事本文）

職場の戰士を顯彰

臺北州 勤労章授與式行はる

（記事本文）

戰場精神を職場へ

喜びの建部敏雄氏語る

（記事本文）

信念

（記事本文）

檢討

（記事本文）

見よ！この熱誠

少年兵に志願者殺到

（記事本文）

海の子ら"臨海訓練"

海洋訓練隊員近く基隆へ

（記事本文）

乘員戰死五百

後方攪亂の英機

（記事本文）

傳染病に御用心

臺北市衛生當局から警告

（記事本文）

職場精神を職場へ

（記事本文）

梁井知事訓示

（記事本文）

優病將兵へ

（記事本文）

島民の赤誠

（記事本文）

今夜の放送

（記事本文）

明朝の番組

（記事本文）

從軍記念支會

長會議

（記事本文）

クスリはホシ
ホシチヤコール錠
三瓶・五瓶・十瓶
下痢？御心配無用！
下痢したそのチヤコールを一日數回服用すれば大抵の下痢は治まります
星製藥株式會社

臺灣日日新報　昭和十八年六月二日（水曜日）　（第二版）　（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　第一万五千五百三十四號　(一)

臺灣新民

日本時夕刊共六頁

抜本的に整備編成

企業整備基本要綱

きのふ定例閣議で決定

重要産業に高度能率

一億の協力を要望

鈴木企畫院總裁談

戰力増强企業整備要綱要旨

故山本元帥に白象特等勳章

敵中に突入潰走せしむ

アッツ島血戰 谷萩少將談

ジヤワ最高指揮官更送

原田熊吉陸軍中將

二斗坪 宜昌上流 を空襲

大型船十數隻を擊破

壯烈・空中の格鬪戰

チツタゴンに奮戰狀況

久邇宮德彥王殿下

海軍少尉に御任官

府縣會議員選擧

一時延期に決定

町村會議員選擧も延期

定例閣議

手形交換所

マニラに設置

戰力を飛躍增强

翼贊會 全國支部 事務局長會議

後藤翼贊會副總裁挨拶

護國の忠靈に續かむ

日本商工會議所解散

同名の任意團體を設立

九月に組改

戰ひ抜かん大東亞戰

貴費の保險

千代田生命

湯地丈雄 近利（實費加上月六）

傳統について 野口米次郎著 鬼怒十里 兼齋 牧書房

昭和政記 御手洗辰雄

日米電波戰 澁田遉之丞

ソロモン航空基地 高原四郎

細胞學研究室から 湯淺明

金屬の生産技術 池田謙三

日本經濟戰爭序說 四谷彌兵衛

皇國必勝の信念に就て 岡村誠之

國民威儀の現成 田中忠雄

攘夷精神と藤田幽谷 高須芳次郎

食糧對策座談會 我妻東策 松田甚次郎 菅原兵治 宮城孝治 石坂弘 加川啓四郎

昭和國民史 結城豊太郎

六月號 80錢 代現

本日の業實

六月一號 米國の重工業はどう變つたか 古屋美貞

戰力と創意 山田忍三

新取引所の發足と株式の今後 座談會

會社合併と人事 野間健也

米國と獨逸の科學技術 藤村利常

自作農創設と增産 加川啓四郎

農村と共に生きる 菅原兵治

新米價と米價政策 稻村順三

皇國農村の確立 特輯

耐乏と生活 鈴木大拙

デマと國民の知識力 增田義一

新 毒素老廢物を排尿に溶して病源を一掃する體液淨化還元療法

深 腦に起因するあらゆる精神、運動の障害、胃腸から發する胃腸の疾患、肺から發する肺の疾患、心臓から發する心臓の疾患、腎臓から發する腎臓の疾患、膀胱から發する膀胱の疾患、婦人病、皮膚疾患、神經痛、リウマチス、關節炎、神經衰弱、膀胱疾患、肺結核、肺炎、肺壞疽、肺門腺等の內臓疾患、百般の疾患に對して、血液を淨化して病源から治療しない限り根治は出來ない。その理由は——

か うした體中は超顯微鏡に發見される程多數の細菌が、たえず體內に侵入して、血液を汚染し、その細菌が體內の各臓器に運ばれて、そこに病原菌として繁殖するからである。

この血液淨化還元療法は、體內の老廢物を排尿に溶して排出し、血液を淨化して病源を一掃するので、從來の治療法とは全く異つた根本的治療法である。

難治の……慢性病と衰弱症なら

新藥 榮養劑 ネオトラミン 諸結核 神經痛 ネオトラミン

創意 事務官に 任命

社說

敵米英を睨む國民の相貌

金丸一郎し

つつあり

皆々御承知の通り十二日の日曜日は敵米英の本土に対する第一回の空襲が行はれた日であつて、我が帝都を始め全國各地に於ては、この日を期して國民防空態勢の強化に関する種々の行事が行はれたのであります。

申すまでもなく、この空襲は敵米英の大東亜戦争に於ける作戦の一環として行はれたものであつて、敵としては、この空襲によつて我が國民の戦意を喪失せしめ、我が戦争遂行の力を殺ぐことを目的としたものであることは明瞭であります。

敵米英は、この空襲の効果に対して、相当の期待をかけてゐたものと見えまして、空襲の翌日、即ち十三日の敵側の放送は、この空襲の効果に関して、我が國民の戦意を喪失せしめたとか、我が國民の間に動揺を来したとか、或は我が國民の間に恐怖の念を抱かしめたとか、或は我が國民の間に厭戦気分を醸成したとか、或は我が國民の間に反戦思想を増大せしめたとか、或は我が國民の間に和平気運を醸成したとか、或は我が國民の間に敵米英に対する憎悪の念を減退せしめたとか、或は我が國民の間に敵米英に対する侮蔑の念を減退せしめたとか、或は我が國民の間に敵米英に対する恐怖の念を増大せしめたとか、或は我が國民の間に敵米英に対する憎悪の念を増大せしめたとか、或は我が國民の間に敵米英に対する侮蔑の念を増大せしめたとか、或は我が國民の間に敵米英に対する恐怖の念を減退せしめた

第一次派遣看護助手
現地軍の稱讃博す
○○病院長から感謝狀

大東亞戰爭の進展に伴ひ、陸軍病院の擴充強化に際し、本島より第一次派遣看護助手として、○○名が、○○病院に赴任、軍醫部の指導の下に、傷病將兵の看護に當つてゐたが、今般、同病院長より、左の如き感謝狀が、當局に寄せられた。

感謝狀　一、貴臺ニ於テ今般新ニ○○病院ニ增設セラルルニ當リ、其ノ看護助手トシテ、本島ヨリ○○名ノ女子ヲ派遣セラレ、當院ニ於テ、其ノ業務ニ從事セシメラレタルガ、其ノ間、何レモ熱心ニ、且ツ、克ク其ノ職務ヲ盡シ、當院ノ業務ノ遂行ニ多大ノ貢獻ヲ爲シタリ。仍テ、茲ニ感謝狀ヲ贈呈ス。

○○病院長　陸軍軍醫大佐　○○○○

舌端火を吐く南進論
「學徒南進研究會」發會
講演會に學徒の意氣

【臺北電】臺北帝大、臺北高校、臺北第一中學校、臺北第二中學校、臺北工業學校、臺北高等商業學校、臺北高等女學校、臺北第一高等女學校、臺北第二高等女學校、臺北第三高等女學校、臺北第一師範學校、臺北第二師範學校、臺北第一商業學校、臺北第二商業學校、臺北第一工業學校、臺北第二工業學校、臺北第一農業學校、臺北第二農業學校、臺北第一女子商業學校、臺北第二女子商業學校、臺北第一女子工業學校、臺北第二女子工業學校、臺北第一女子農業學校、臺北第二女子農業學校、臺北第一女子師範學校、臺北第二女子師範學校、臺北第一女子高等學校、臺北第二女子高等學校、臺北第一女子實業學校、臺北第二女子實業學校、臺北第一女子技藝學校、臺北第二女子技藝學校、臺北第一女子職業學校、臺北第二女子職業學校、臺北第一女子實業補習學校、臺北第二女子實業補習學校、臺北第一女子技藝補習學校、臺北第二女子技藝補習學校、臺北第一女子職業補習學校、臺北第二女子職業補習學校、臺北第一女子實業補習學校、臺北第二女子技藝補習學校、臺北第一女子職業補習學校、臺北第二女子實業補習學校、臺北第一女子技藝

各地に擧る歡聲

お！憧れの若櫻

米英撃滅へ體當りだ

合格者感激して語る

九時半から市内各校において一斉に入隊志願者の身体検査が行はれ、本年度一期生として入隊する少年飛行兵の合格者が決定したが、本年度一期の生徒募集に対する志願者の数は実に予想の十倍に達し、いかに少年航空兵に対する熱意が高いかを物語つてゐる

嘉義市二十名

【嘉義電話】嘉義市内各校において一斉に入隊志願者の身体検査が行はれ、本年度一期生として入隊する少年飛行兵の合格者が決定したが、志願者の数は予想の十倍に達し、いかに少年航空兵に対する熱意が高いかを物語つてゐる

高新婆（ごぼう）

【高新電話】高新婆（ごぼう）では若き北門郵局員高新婆（ごぼう）君（一九）が一期生として入隊することになつたが、同君は昨年十二月彰化銀行支店に勤務し現在に至つてゐるが、入隊を目指して猛勉強中であつた

林登元（ごぼう）

【林登電話】林登元（ごぼう）君（一九）は元竹ノ二（昭和十六年十二月彰化銀行支店に勤務し現在に至つてゐるが、入隊を目指して猛勉強中であつた

孫福安（ごぼう）

【孫福電話】孫福安（ごぼう）君（一九）は西門町四丁目の生まれで、幼時より軍人を志望し、今度の志願兵募集に際しても、父母の反対を押切つて志願したが、同君は第二回目の下志願者で、第一回目は身体検査で不合格となつたが、今回は見事合格の栄冠を獲得した

阿里山からも

【阿里山電話】阿里山郵便局管内からも、一期生として入隊志願者が続出したが、同局では一期生として入隊を許された田尻義雄君（一九）と前田郵便局勤務の李阿里山の青年が入隊することになつた

旭青年校開校

【旭公園】旭公園内の青年校は昨二日より開校式を挙行した

海の子の意氣高し

東石郡で十一名志願

【朴電話】管下各地区の十二歳乃至十四歳の海の子達は、今度の少年飛行兵志願者の続出に刺激されて、我も我もと志願者が続出し、東石郡では十一名の志願者を出すに至つた

新竹州勤業課長會議

【新竹電話】新竹州では二日午前

戰ふ漫畫展

四日から臺中で

【臺中電話】臺中市主催の戰ふ漫畫展は六月四日より三日間（六月四日朝九時より夜八時まで）新化座において開かれる筈であるが、入場料は全部大東亜戦争完遂のため献金することになつてゐる

天晴れ高砂義勇隊員

これこそ私の本望です

小箱の中に言々胸衝つ遺書

忠魂に感謝敬弔

臺南市の六月常會

夫の位牌と戰地へ

烈々高砂女性の叫び

義勇隊員遺族を訪ねて【2】

空襲と燈火管制

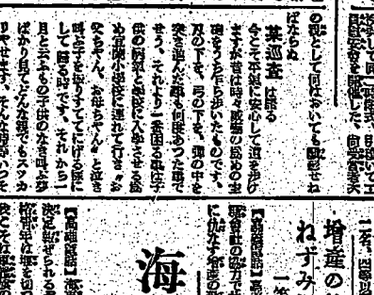
一點の火は敵の乘ずる光

皇奉基準も顏負け

決戰型八十圓の結婚式

海軍志願熱に應へ

高雄市で海洋訓練計畫



大いなる祭

(150)　中野貫作

三芳悌吉畫

ふるさと（3）

特許意匠商標實用新案
出願 大阪市今橋今市ビル
中松特許法律事務所
所長 中松盛雄

勝ち抜くために一億健康
ミツワ肝油ドロップス

ヤニを取り 洗れを防ぎ 臭ひを消す
タバコのみの歯磨スモカ

エンジン 一マンヤルゼー
S型 H型 D型 DM型
山岡內燃機合北支店